

Vol.41 オンラインゲームを活用した施設交流会

オンラインゲームを活用した交流会が3月5日、宇都宮市内の二つの老人施設で開催され、施設利用者ら約50人がeスポーツ対戦を楽しみました。 企画制作/下野新聞社ビジネス局

ケアライフゆいの杜×瑞寿苑
気持ち良く太鼓をたたいて交流
高齢者施設でeスポーツ対戦



施設スタッフに助けをもらいながらeスポーツを楽しんだ参加者＝瑞寿苑



画面を見ながら八字を撮る参加者＝ケアライフゆいの杜



画面越しに瑞寿苑の高齢者に声をかけるNTT東日本栃木支店井出課長＝ケアライフゆいの杜

「コンピュータゲームなどの腕を競う「eスポーツ」は、60歳以上がスポーツや文化で交流する「ねんりんピック」の正式種目に採用され、広く知られるようになった。この日は、NTT東日本栃木支店がゲーム機や通信機器を用意し、高齢者入居施設ケアライフゆいの杜（宇都宮市）と特別養護老人ホーム瑞寿苑（同）を結んで、それぞれの利用者が太鼓をたたいて打数を競うeスポーツで対戦しました。

参加した高齢者の皆さんは、まず対戦相手が映し出されたモニターを見て出されたモニターを見て軽くあいさつ。その後、別のモニターに目を移し、音楽とともに次々と現れる記号を目で追いつながら、記号に合わせて大きく打つたり小刻みに打つたりして正確な打数を競いました。ほとんどの高齢者は、太鼓をたたいて競うゲームは初体験。戸惑いも見られましたが、施設スタッフに促され太鼓の前に座りました。

音楽が流れると、自分のペースでバチを操り、見守っていた他の高齢者たちも記号に合わせてヘッドボトルマラカスを振っていました。「気持ち先走りました。音楽が好きなので楽しかった」（ゆいの杜女性89歳）、「午前中から楽しみにしていました。自分でできる、ということはやっばり楽しい」（瑞寿苑女性94歳）など、満足そうでした。

ケアライフゆいの杜の飛田まさみさんは「利用者の皆さんはニコニコと笑顔で、集中してイベントを楽しんでいました」と話し、瑞寿苑の生活相談員石島寛之さんも「リズムよく太鼓をたたき、良いイベントでした」と拍手を送っていました。



オンラインで交流する参加者の皆さん＝瑞寿苑



高齢者の方がeスポーツを楽しんだ＝ケアライフゆいの杜



ゲームの説明を受ける参加者＝瑞寿苑



施設職員も一緒に応援＝瑞寿苑



オンラインゲームを活用した施設交流会

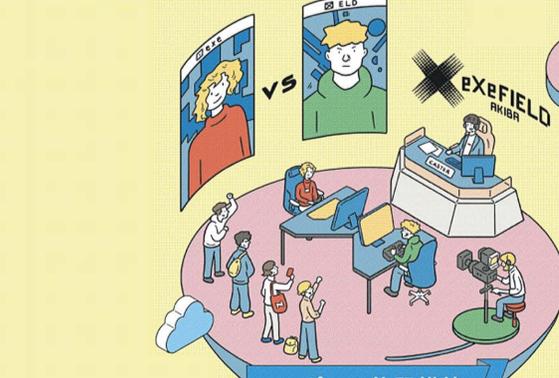
会場や対戦相手を映し出した画面＝ケアライフゆいの杜



高齢者に体験の機会を設けたNTT東日本栃木支店の井出智子総務労務担当課長は「eスポーツは、仲間づくりや健康維持につながると思われると思います。これからも楽しんでいただきたいと思います」と話していました。

好きと向き合う、ミライとつながる。

eスポーツを通し、デジタルスキルからリーダーシップも学べる新しい教育をめざします！



eスポーツ施設構築
ICT環境のコンサルティングや、施設構築を実施。地域や学校が、eスポーツ文化の発信地に！



部活動サポート
eスポーツ部に必要な環境や運営など、相談から構築、運営までをワンストップでサポート！



ハイスクール運営
NTTe-Sports高等学院で、学び、遊び、友情を。ミライにつながる学生生活を提供していきます。



めざすは人間力アップ
楽しみながらリーダーシップやチームワークなどを高められることがeスポーツの力です。

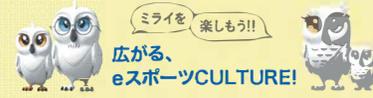


デジタル人材育成
プログラミングなど、デジタルスキルを磨く環境を提供。デジタル人材への成長を応援します。



Powered by IOWN
次世代ネットワーク基盤IOWNは、eスポーツに理想的な環境を実現し、可能性を広げます！

※NTTe-Sports高等学院は、遠隔サポート校です。K24-05766 [2504 2603]



広がる、eスポーツCULTURE!

